

第5分科会 第4会場
**「地域まるごと健康づくりの
とりくみ」**

岡山国際交流センター 8F イベントホール

演題番号 5-4-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか 蒲生厚生診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヒグチ ヨシハル 樋口 義治	理事(メールアドレスは 組活担当：白井の業務用 アドレス)	第5分科会

発表テーマ
8020運動・子どもと高齢者のお口の健康

内容（発言要旨）

蒲生厚生診療所のある建屋には、法人内にある5つの歯科の1つである「せいきょう3丁目歯科」があります。この有利な条件を広く生協組合員さんに知ってもらい、「健康づくりに役立ててほしい」という思いから運動を始めました。

大阪市も8020運動の達成者に対し表彰を実施していますが、ほんの一部となっています。そのなかで、三丁目歯科の患者さんにはもれなく表彰し、さらに意識を高めてもらいたいと考えています。

また、75才以上の後期高齢者を対象にした無料歯科健診をもっと知らせ、歯科受診の機会を増やすことを通じて、歯科の経営にもプラスになればと思います。

子どもの歯の状況も深刻です。小学校の歯科健診で虫歯が見つかって、歯科受診率が低く、放置されている例が多く見受けられます。この状況を改善するため、無料低額診療が少しでも力になればと、取り組みを始めて行きたいと考えています。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市城東区の一部。活動地域の人口は約47000人。所属する共同組織の人数は約3600人。	
TEL 090-3490-3583	メール t-shirai@health-coop.jp

演題番号 5-4-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
コンドウ ケイコ 近藤 恵子	理事	第5分科会

発表テーマ
地域に広がるオーラルフレイル予防の取り組み

内容（発言要旨）

2019年度よりオーラルフレイル予防の取り組みを進めるため、健康事業部に歯科衛生士を配置しています。初年度は「おくちの衰えを見逃さず健康寿命を伸ばそう」をテーマに多くの組合員に広げることを目標に取り組みました。学習会は53会場、参加者1303人となり、お口のゲームや歌など取り入れ、楽しみながらお口の働きを見直すことができました。その後コロナ感染拡大で思うように取り組めない期間もありましたが、医療生協班会だけでなく、地域の通いの場であるサロンや高齢者支援センターや子育てサロンからの要請を受け、オーラルフレイル予防は様々な層に広がってきています。飲み込みづらさを感じていたが、歳だから仕方がないのかなと思っていた。口の衰えを放っておくと身体全体にも色々な影響が出るのが理解できた。など感想が寄せられています。2022年度より健康づくりの担い手育成を目的に実践できることを目指した「げんき応援隊養成講座」を開講しています。講座修了者はげんきレンジャーになって、身近なところから健康づくりの取り組みの推進役となっています。これからもおいしく長生きのまちづくりをすすめていくため楽しく役立つ情報を発信していきたいと思っています。

所属している組織の概要	
岡山県、西部高梁川流域。7市3町。所属する共同組織の人数は約63,000人。	
TEL 086-448-3369	メール oobayasi_ms@kura-hcu.jp

演題番号 5-4-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
鹿児島	鹿児島医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カミノ レイコ 神野 玲子	南さつま支部運営委員	第5分科会

発表テーマ
『はみがきサポーター養成講座』健康な身体は歯から！

内容（発言要旨）

「健康づくりサポーター養成講座」は、新たな「健康づくりの担い手」を養成し「組合員が主役」の健康づくりを更に前進させること、また保健委員のステップアップを図ることを目的に、2005年秋から開講しました。対象者は保健委員（保健学校の卒業生）とし、4つのテーマで開講しています。南薩ブロック健康づくり委員会では、今回最も興味があった『はみがきサポーター養成講座』を開校しました。講座の目的は歯科の関連疾患について学習し、セルフケアの必要性を知ること、口の健康についての大切さを地域に広げていくことです。今回の参加者は11名、うち9名の修了(新規9名)でした。

歯周病チェックや位相差顕微鏡を使った口腔菌チェック、1本1本意識して、丁寧にみがく歯磨きなど盛り沢山の内容に、「楽しく学べて超お得な講座だった」と皆大満足でした。自分の歯みがきはもちろんのこと、地域でも歯みがきサポーターとして今回の講座で学んだ事を役立てたいと考えます。

所属している組織の概要	
鹿児島県南部地域で構成する南薩ブロック(川辺北、川辺南、南さつま、枕崎、枕崎西、知覧の6支部)組合員数15,633名	
TEL 099-260-3532	メール sosiki@kiseikyo.or.jp

演題番号 5-4-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サトウ タカコ 佐藤 貴子	理事	第5分科会

発表テーマ
地域で気軽に参加出来る運動施設（フィットネスジム、コムコム）の紹介

内容（発言要旨）

2022年7月に総合病院岡山協立病院に隣接する本部コムコム会館の2階のトレーニング室で始めました。トレーニング室は、職員用の福利厚生施設として準備されていましたが、一部の職員しか活用されていないので地域に開放していただくよう要望しました。私たちの支部の担当職員が、リハビリ専門職であったため、そのスペースの活用にも何の抵抗もなく始めることが出来ました。とにかく楽しいです。むしろ、運動は二の次となり、フィットネスでの仲間とおしゃべりしながら足を動かしています。2023年度は、他の事業所の空きスペースを活用してフィットネスが4ヶ所で開始され、1000人を超える参加につながっています。これからも、新しい仲間を誘って、楽しく健康増進をすすめます。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山市中区の総合病院岡山協立病院の周辺のエリアです。中区中央エリアの取り組みとして開始し、現在はその中の1支部が運営しています。	
TEL 086-271-7880	メール soshiki@okayama-health.coop

演題番号 5-4-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	一般社団法人大阪ファルマプラン	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サイトウ 齋藤 ミキ 実希	あおぞら薬局	第5分科会

発表テーマ
あおぞら薬局の健康増進サポート活動！

内容（発言要旨）

あおぞら薬局は大阪府下で第1号の「健康サポート薬局」を取得した。薬に関する相談はもちろん、健康や介護用品などに関する相談にも応じ、患者さんや地域の皆さんの健康維持・増進をサポートしている。他にも AGEs 測定・HbA1cの測定や週2回管理栄養士の栄養相談などを行っている。そんな健康サポート薬局の強みを活かして、会員さんと一緒に取り組んだ健康増進サポート活動を報告する。あおぞら薬局は西淀川・淀川健康友の会塚本支部の会員を対象に世話人さんが中心となって月2回塚本地域と田川地域で班会を行っている。班会では、AGEs 測定・血圧測定・体組成計を使って健康チェックをし、毎回テーマを決めて薬剤師・管理栄養士による学習会を開催している。他にも仲間増やし強化月間の取り組みでは、薬局の待ち合いで健康測定会を年2回開催している。このような活動をきっかけに今後も地域の皆さんと共に健康づくりの取り組みを強めていきたいと考えている。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市西淀川区（塚本・田川） 活動地域の会員世帯は1123世帯（令和6年5月時点）	
TEL 06-6477-8080	メール aozora-faruma@nifty.com

演題番号 5-4-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	岡山医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オカベ ケイスケ 岡部 圭佑	コープデイサービス福浜	第5分科会

発表テーマ
健康づくり活動を通して生まれた組合員さんとの絆

内容（発言要旨）

岡山市は全国の市町村の中でも高齢者人口に対して通所介護事業所の数が多い。当該事業所が運営している岡山市南区は、特に事業所が密集しており、競争率が高い状況にある。事業所は約20年近く営業している老舗となりつつあるが、利用者確保には苦慮している。また、コロナの影響と地域組合員の高齢化に伴い、組合員ボランティアの協力が減退する傾向にあった。

今回、法人本部より健康まちづくり企画（フィットネス）の実施をきっかけに、事業所を地域に開放することで、組合員の参加と協力が増進した。フィットネス事業の参加者は増加傾向にあり、参加者の中には通所介護への利用に繋がった。また、利用者確保以上の成果として、コロナ禍以降交流事態が薄れていた組合員との関係に変化があり、組合員と事業所の距離感が縮まり、ボランティアや協同での活動が拡大している。

地域包括ケアをすすめる上でも、組合員の協同は必須である。岡山医療生協が抱える課題については山積しているが、地域ニーズを把握する上で、事業所運営に組合員が深く、継続的に関わってもらうことの意義を改めて感じた。

所属している組織の概要	
活動地域：岡山市。活動地域人口：約71万人。高齢化率約27%。 事業所規模：定員25名の通常型通所介護	
TEL 086-902-0221	メール fukuhama2@okayama-health.coop

演題番号 5-4-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
北海道	民医連道南ブロック友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カサハラ タケシ 笠原 毅	道南勤協函館稜北病院 事務次長	第5分科会

発表テーマ
民医連道南ブロック友の会活動報告～職員と友の会との協働～

内容（発言要旨）

道南地区ではコロナ禍でこれまで友の会と法人職員で取り組んできた地域での活動が数年の間ほとんど無くなり、この間、入職した職員は新人職員研修で「友の会とは」と学ぶだけ、ベテラン職員も一緒に行動する機会がほとんどなくなっていました。2023年4月から、数年間停止していた職員中心の友の会委員会を再開しました。会員を増やす為には具体的に何が必要かなど作戦を立案すると共に、職員に対し友の会に関する研修をおこない、友の会を拡大する意義・目的などを再確認してきました。また、友の会でも会員の高齢化などで宅配、医療懇談会等の友の会活動が、地域で出来なくなってきました。委員会ではこれらの問題に友の会と職員が相談して「みんなの健康教室」に取り組み多くの地域の方が参加しました。2023年度は「とにかく良いと思ったことはやろう！」を合言葉に様々な活動をおこないました。2024年度はそれを継続させること、より充実させることを目標に友の会と職員が力を合わせていきたいです。

所属している組織の概要	
活動地域は北海道の道南圏です。対象の地域の人口は約40万人で友の会は約3万名です。高齢化と人口減少の影響で、友の会会員も高齢化が問題になってきています。	
TEL 0138-54-3113	メール t-kasahara@donank.jp

演題番号 5-4-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	江東健康友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オグリ タミコ 小栗 多美子	事務局長	第5分科会

発表テーマ
血管年齢測定や自治体健診受診の勧め、介護予防のとりくみ

内容（発言要旨）

2017年6月から江東区の総合事業B「ご近所ミニデイ」にとりくみ、まる7年。週1回3時間（昼食時間含む）をスタッフ3人で運営。「嚥下予防のピロピロ笛・脳トレ・歌に合わせたレクリエーション体操・輪投げ・音読・カレンダー塗り絵・ゲーム・みんなで歌う・区内資料館等へのお出かけ・スマホ利用やゲスト指導でみんなで歌う・区の体力測定利用などを行い、地域包括支援センター依頼の看護学生の実習受け入れもしています。毎回、10人前後（コロナ前は18人前後）の参加で介護・フレイル予防にとりくんでいて、「一人なのでみんなと会って一緒に運動できて、ご飯を食べたりおしゃべりができてうれしい」「ここに来るのが楽しみ」と喜ばれています。地域班会では40人弱、なんでも相談会での血管年齢測定に70人以上の方が見え、関心の高さがわかりました。今後、年1回測定を継続していきます。扇橋診療所からの依頼で、40歳以上の友の会会員さんへの自治体健診受診の勧め（電話かけ）を数回行い、会話から会員さんとのつながりも深まることを実感、今年も取り組みます。認知症サポーター養成講座を開催して、区の「チーム・オレンジ」事業につながるよう計画していきます。コロナ禍でやむを得ず休んだ「けんこうまつり」の再開をめざし、医療・福祉・友の会などの学習会、落語を楽しむ会、ぶらり散歩、東京大空襲・戦災資料センター見学会、七福神めぐり、DVDを観る会、折り紙サークル、折り鶴班会（広島・長崎・水俣病資料館へ贈呈）、地域班会、日帰り旅行を継続します。スマホ教室、うたごえなどの新たな活動や地域団体と共同での「みんなのカレー屋さん」、地域マルシェ内「ユニバーサルカレー（毎月）も継続し、新たな会員さん拡大をめざします。

所属している組織の概要	
活動地域は、東京都江東区、人口は約54万人。友の会会員は約1000人。	
TEL 080-1089-7222	メール tamiko-oguri@ totokyogikai.jp

演題番号 5-4-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
神奈川	神奈川みなみ医療生協本部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ハスミ マサノリ 荷見 正則	組織部長	第5分科会

発表テーマ		
理事と協同で健康診断のお誘い電話かけ		

内容（発言要旨）

神奈川みなみ医療生協では2023年度、衣笠診療所と三浦診療所で、理事と協力して健康診断の受診をお誘いする電話かけを実施しました。年度末が近づく12月から1月に、今年度まだ健康診断を受けていない方に理事が電話かけを診療所で実施。健康診断の予約・受診に結び付いたので報告します。

演題番号 5-4-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
カタヤマ アキコ 片山 章子		第5分科会

発表テーマ		
げんき応援隊養成講座の取り組み		

内容（発言要旨）

当組合で2022年度より開催している『げんき応援隊養成講座』を報告する。この講座は、健康づくり活動を実践できることを目標として、管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士の専門職が講師を務めている。基礎講座（1回/月計3か月）、5か月間の実践、実践後のフォローアップ講座（1回/月計2か月）の三段階構成としている。内容は講義・実技、実践報告、グループワークであり、実践に活用できるさまざまなグッズの配布も行っている。現在までに、基礎講座4回、フォローアップ講座3回の開催を終え、基礎講座修了者は60名、フォローアップ講座受講者は延べ70名、実践報告数は40件となっている。実践は、運営委員会、支部イベント、班、サロンなどで行われ、定期的な活動メニューに定着したり、支部や班を超えた活動の広がりもあった。参加者同士の情報交換や支部や班を超えた交流なども好評で、参加者同士のつながりを強化・サポートしていく必要性も感じている。今後もこの取り組みを継続し、地域を支えていける活動に展開していきたい。

所属している組織の概要	
神奈川県東部三浦半島（横須賀市・三浦市・逗子市・葉山町）組合員数13,328 出資金額375,708,500円	
TEL 046-853-8105	メール h-sosiki@k-minami.or.jp

所属している組織の概要	
活動地域:岡山県西南部 活動地域(岡山県)人口:1,865,478人 組合員数:63,372人	
TEL 086-448-3369	メール

演題番号 5-4-11

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福岡	社会医療法人 親仁会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ミヤケ キョウジ 三宅 浄継	まちづくり推進部 部長	第5分科会

発表テーマ
行政と連携した友の会班会での『もの忘れ予防・相談検診』の取り組み

内容（発言要旨）

大牟田市では、市独自の認知症ケア専門カリキュラム「認知症コーディネーター養成研修」があり、当法人も計画的に職員に受講してもらっている。市は、地域住民向け『もの忘れ予防・相談検診』（以下、検診と略）を実施しており、認知症コーディネーター養成研修修了生が検診を担っている。そのため、当法人の養成研修修了生が、友の会員向けの検診に取り組む活動を開始するべく、市担当課に相談し、市主催の検診と同等の取り扱いとしてもらうことに了承を得た。

現在、検診ツールを市より借り、検診後に市へ結果報告。検診時に、会員に検診結果の個人情報を市と共有することに同意を得るようしており、同意された方で認知症が疑われる方については、市担当保健師より、市が主催する2次検診案内の連絡を入れてもらう。また、気になる会員は、まちづくり推進部が包括支援センター等関係機関へ繋いでいく取り組みを報告する。

所属している組織の概要	
活動地域は、福岡県大牟田市。活動地域の世帯数は55,284世帯。所属する共同組織の世帯は7,615世帯（13.8%）。*2024年3月31日現在	
TEL 0944-53-5801	メール k-miyake@kome-net.or.jp

演題番号 5-4-12

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛媛	愛媛医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ササキ 佐々木あゆみ	愛媛医療生活協同組合 川内支部 支部長	第5分科会

発表テーマ
やりたいことをみんなで楽しくやってみようー行く場があり出掛かける予定があるのが嬉しいんよー

内容（発言要旨）

2020年東温支部より分割して川内支部は誕生しました。現在5年目に入ったところです。

まずは、川内支部の概要と、支部の15の場の紹介（班6つ集い9つ）

その中から場のひとつで2022年12月に誕生した“どんぐり”の活動について紹介します。どんぐりは旬の物（野菜・山菜など）を使って昔から地域に伝わっている加工品を使ったり「こんな食べ方もありますよ」と新しい料理を作ってみたりお互いに教えたり教えてもらったりして日々の食事に役立つ情報を得られる場となっています。みんなで作った野菜いっぱいランチも大好評です。毎回参加者が15～20名。参加者は「おいしいものが食べられ、しかもとても楽しいから行くんよ」とこぞって話してくれます。地域における「健康づくり」「仲間づくり」の場となっているなど思っています。

所属している組織の概要	
生協ブロック、川内支部	
TEL 090-7146-2654	メール ayu.sanomaki@gmail.com